

2020年7月吉日
印西市立原小学校
『保護者と教職員の会』
事務局代表 齊藤 敦史

第23回定期総会書面議決のご報告

日頃より『保護者と教職員の会』の活動に、ご理解ご協力を頂きましてありがとうございます。

会員の皆様より提出頂きました「定期総会議決」の集計結果をご報告致します。

2020年6月15日時点 資料配布家庭数 763 世帯（票） （児童総数 989 名）

2020年6月19日提出期限 同6月23・26日集計 議決行使数 710 票

全議案賛成 695 票

賛否欄空白 10 票

一部空白 3 票

議案反対 3 票

反対票詳細 議案2 1 票
議案3 1 票
議案8 1 票

以上、原小学校『保護者と教職員の会』規約細則に則り、全ての議案が可決承認されたことをご報告させていただきます。

反対票・質問票について

書面による本総会に於きまして、配布資料から複数の質問票を頂戴致しましたので、反対票の対応を含めまして回答させていただきます。

議案2・3につきましては同一の方から【新型コロナにより】反対と記載がありましたので、役員活動の再開に対して慎重になられている意思表示と解釈しました。

新型コロナ対策としまして、今年度活動につきましては、学校・児童・教職員の皆さんの安全・安心に配慮しつつ、第二波への警戒を怠ることなく、各種集合会議の一部をメール対応に切り替える、配布物の印刷作業などでも学校敷地内立ち入りを減らし、配布物を控え、学校ホームページに掲載した上でスクールメール告知を行う方向で学校側の承諾を得ています。

議案 8 (7) につきましては、質問票の回答と重複致しますので、以下、質問票への回答に含ませて頂きます。

議案 1 決算報告の内容を、もう少し具体的な内訳・金額の開示により理解や判断の基準になるよう検討を。

資料 12 ページ・支出の部内訳備考欄に用途を記載しておりますが、備品・消耗品類以外の大きな支出につきまして内容詳細が見え難い点の改善は新年度役員に引き継ぎ、検討させて頂きます。

議案 1 学校協力費の内訳の開示、使用状況の確認（監査）が出来ているか。

学校運営経理上、公的会計に於いて経費算入が認められないもの。または、学校という主体が地域コミュニティ形成に必要と認められるものに対して『保護者と教職員の会』会費から支出されているものと認識しています。

支出例

学校医、来賓、来客対応

親子除草作業などの備品

原小学校の活動に協力頂いているボランティア（防犯・あいさつ運動・昔遊び）の対応
各教室用の給食マット、カレンダー

廊下、教室清掃のためのワックス、洗浄剤など

歯科指導 フッ化物洗口用具など

日常的に先生方が除草作業で使用する除草機の替刃購入などにも使われます。

上記の他にも多岐に渡る支出があります。支出の部備考欄に児童活動費、他 という記載が歴代使用されており、正しいかは別として、直接的に児童活動に関係しない費用に見えますが、児童の快適な学校生活に直結したことに使われています。

使用用途の確認につきましては、領収書ファイルに添付され、連絡会の際などにチェックしており、適正に運用されるよう努めております。

なお、開示につきましては、細かな領収書の積み重ねになりますので、学校側が当会に対して非開示などの適正管理がなされない状況が発生しない限りにおいては必要としないと考えます。また、年度末会計監査としての確認も実施されております。

（当会役員活動の如何なる会合において、お茶・お茶菓子等の提供、支出はございません。）

議案 2 事務局活動が多岐に渡っているが、それぞれの活動費用がどの程度なのか拠出先、拠出額の妥当性の判断材料を明示希望。

事務局活動による予算は、『保護者と教職員の会』主催行事費用になります。

昨年度事務局支出実績 4 0 6 , 6 0 0 円

芸術鑑賞会の演者団体に、昨年度事務局支出額のうち 4 0 万円が出演依頼費（諸経費・税

込)として、残額は児童から演者への花束代(3,300×2税込)に支出しました。

演者団体の選定は、学校宛DMが各団体から多数寄せられたものがベースになり、学校との日程調整後に幾つかの候補団体と予算内での価格、交通費・昼食代等必要諸経費を含めた交渉を経て決定します。

一年生は初めての経験ですが、在校生は毎年のイベントになりますので、前年、直近数年の演目に配慮し演目を絞り込み、学校の承諾の下で依頼します。

本校児童数が年々増加を続け、二部制でお願いするなどの条件と価格面の制約が厳しくなっています。(予算40~50万は各団体の定価では依頼が難しい額になります。)

昨年度は、その他の対外的活動には経費支出はしておりません。

今年度予算案補足につきましては後述します。

議案8 こちらにつきましては、多項目の質問事項がございましたので、類似質問事項を取りまとめて回答させていただきます。

まず初めに、新年度予算案を含む定期総会資料は、年度初めに間に合わせるために年末前から作成に取り掛かります。2月後半からの新型コロナウイルスの流行、その後の長期に及ぶ休校は想定外の出来事でした。

昨年度末からの休校期間中も一部役員により資料の最終確認と印刷・製本を行いました。その後の休校延長と、会員の皆様に学校ホームページ上で告知致しました通り当会の活動も一部を除き休止しておりました。

学校再開がイコールで当会の活動再開のきっかけでは有るものの、不安を抱えた保護者の皆様同様に前年度役員の一部が任期を延長し、不安の中で陰ながら活動して下さっていたことに感謝申し上げたいと思います。

皆様に配布致しました総会資料も、原稿の修正、印刷・製本のやり直しなど、時間と手間とコストをかければ可能なことではありますが、何より【密】を避けること、学校が再開している以上は新役員選出を含めた新年度対応を早急に進めることが急務と判断しました。

特に新年度予算案と各委員会の活動計画全般については大幅な見直しが必要になります。

ただし、現状では学校行事の日程や開催実施可能行事の確定も出来ておりません。従いまして今すぐに何かを決められる訳でもないことをご理解ください。

- ・会費と予算について、休校期間分の会費はどうか？予算組み直しは？

休校延長に伴いまして、当会活動休止期間4・5月分の会費徴収は行いません。

学校再開に合わせまして、6月から翌3月までの10ヶ月分の集金を予定しています。

(5月26日 小山教頭・事務局代表齊藤・副代表橋野・中野による縮小会議で確認)

予算案の修正・使用用途につきましては、先に記しました通り、学校とも相談しながら新年度役員が決定し、皆様に諮りたいと考えます。

- ・親子活動廃止による減額分が行事協力費にスライドしている理由は？

昨年度、突然のことで対処出来なかったことですが、一昨年まで市から支給されていた児童への運動会賞品が廃止されました。今年度から配布してあげられるよう予算を増額計上しました。また、会費は家庭数徴収のため、児童・教職員数増加が記念品類各種の値上がりの影響を受けやすいことも考慮しています。(昨年度卒業祝い菓子など値上げあり。)

(予算をスライドさせたとの認識ではございません。)

- ・ベルマークについて、活動を廃止となっているが？

ベルマークに関する活動は、主に学年委員が委員会活動の一環として取り組んでいるほか、集計作業に参加していただくボランティアのベルマーク【係】の活動がありました。

昨年度役員からのご意見をもとに、必要以上に人が集まってしまうため【係】活動を廃止としました。短文告知であったため、誤解を生じさせてしまい申し訳ありません。

ベルマーク集めと集計は従来通り役員と、児童の委員会活動として行いますので、引き続きご協力をお願い致します。

- ・学校運営（学校協力費・行事協力費）費用に多額の支出があり、本来『市』が負担すべき費用を会費から負担し過ぎている印象がある。

本書2枚目でご説明した学校協力費用途をご確認ください。

行事協力費につきましても先に記しておりますが補足します。

行事協力費は、様々な学校イベントに於いて、頑張った児童へのご褒美としての意味合いと、記念品・祝い事などで直接児童に配布されるものに使われます。

- ・議案7のミシン購入費計上についての理由は？印西市は学校施設や児童福祉などがしっかりしていると思うが？

この項目につきましては、本来『市』に予算要求すべき。との記述もありました。もっと

もなご意見だと思えます。

学校で現在使用しているミシンは型式も古く、先生方が修理・メンテナンスを繰り返して活用しています。勿論今までも追加購入の要望が上げられていますが、児童数に対する配給が足りていません。授業に使える台数が一班に1台行き渡るかどうかといった具合で、当会にも要望が来る状態です。

学校施設・設備・備品に関する予算は、国や県の事業と市単独事業では大きく異なり、現在の印西市市政では、幼・保・学童などの待機児童対策には予算が付きやすいようですが、運動会賞品の例などの通常福祉予算は削減傾向にあるのが現状です。市長公約や市議会議事録等は個人でご確認ください。(市長及び市議会批判の類の発言ではありません。)

ミシン購入の件に先立ちまして、当会主導で近隣の方に使わなくなったミシンの寄付をお願いしてみてもどうか。という提案を致しましたが、市教育委員会との調整や諸問題の対策が必要とのことと思うように進んでおりません。

触って動かす経験をさせてあげられる授業にするかで児童の意欲は大きく変わるのではないのでしょうか。主に高学年の授業で使用するものですが、今からでも少しずつ増やせるのであれば、今後に繋がる学校備品になるとの思いがあります。

・当会の活動について、学校運営のために直接お金を出すのではなく、関係各所への働きかけができるようになっていければよいのではないかと。

『保護者と教職員の会』活動は、専業ではなくボランティアのため、非常に難しいご意見を賜りました。昨年度8月から西の原中学校区内通学路の市道に関する【安全対策・速度規制の要望書】を作成し、区内16町会、社会福祉協議会、地域民生委員、児童委員、私立幼稚園、こども園、防犯組合などにご理解頂くため、市役所・警察署・現地での下調べ、趣旨説明と代表署名を集めるのに7か月を要しました。昨年度中に署名簿を添えて印西警察署に提出させて頂いております。

限られた時間の中で出来ることを、確実に前に進めることの難しさを痛感しました。

今後も児童の快適な学校生活と安心・安全に配慮した活動出来る範囲で継続して行いたいと考えております。

以上、総会議決のご報告と、反対票・質問票に対する回答とさせていただきます。

当会の活動に、積極的に参加いただくことと併せまして、皆様のご理解とご協力を賜りたく、宜しくお願い致します。

齊藤